

## 全学内部質保証委員会検証における意見への対応

部局等：キャリアセンター

評価結果における意見等 (※問題点や改善を要する事項、改善が望まれる事項等)	対応状況
<p>専任の配置人員が少なく、任期付きの特命職員であるため、発展的なキャリア教育と柔軟で手厚い就職支援を継続して提供するためには、長期を見据えた人員の配置が望まれる。</p>	<p>現在、特命教員（講師・無期限）1名、特命職員（任期付き最長5年）1名の少数精鋭でキャリア教育と就職支援等を行っている。</p> <p>今後、キャリア教育においては「キャリアデザインC」講座を1単位から2単位へ拡充、「キャリアデザインB」講座担当者（国際マネジメント研究科教員）の2024年度末定年退職を見据えた講義担当の移行がキャリアセンターに求められており、あわせてインターンシップ・早期選考・就活の長期化により就職支援対象が最終学年と学部3年次、修士1年次と対象が増大している。</p> <p>このような状況下で、これまで培ってきた発展的なキャリア教育と柔軟で手厚い就職支援は維持・継続するには専任職員の配置が必要なことから、キャリアカウンセラー有資格者の無期雇用へ、定年退職後の再任用を行えるよう関係部局等と調整をすることとしている。</p>